

資 料

1. 事前打合せ資料

令和7年度
地域提案型交通安全支援事業

事業の概要

(一財) 日本交通安全教育普及協会

令和7年度 地域提案型交通安全支援事業概要

1. 事業名

「令和7年度 地域提案型交通安全支援事業」

2. 目的

本事業は、内閣府が地方公共団体の提案を受け、当該地域の実情を踏まえた上で、当該地域において必要な交通安全に資する事業を実施することにより、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的とする。

3. 主催

内閣府、実施地区実行委員会

4. 後援

開催県、所轄警察署等

5. 事務局

(一財) 日本交通安全教育普及協会

6. 実施地域

和歌山県、徳島県

7. 実施期間

和歌山県：11月 5日（水）を予定

徳島県：10月 18日（土）を予定

8. 参加者

和歌山県：約1,000名程度（和歌山北高等学校生徒及びその保護者）

徳島県：約100名程度（県内のおおむね65歳上の者）

9. 実施方法

- ① 実施地域ごとに実行委員会を設置する。実行委員は、各地域の実情に即したプログラム内容や参加者の募集方法等を検討し、プログラム当日の運営等に携わる。
なお、受託者は実行委員会に参加し、プログラム案が、より一層充実し効果的なものとなるよう、積極的に提案を行う。
- ② プログラム実施後は、参加者及び実行委員を対象としたアンケート調査をそれぞれ実施するとともに、本事業を実施した結果を踏まえ、地域における交通安全教室等の実施方法・内容が今後より効果的かつ効率的なものとなるよう、実行委員会としての意見を取りまとめる。

- ③ 各地域での実行委員会の設置を始めとした事業実施に際しては、県、実施市町村及び地域において日常的に交通安全活動を行っている交通ボランティア団体や関係団体・機関（所轄警察署、教育委員会、小・中・高等学校、PTA、高齢者団体及び交通関係団体等）との連携を図り、協力を得るものとする。

10. 想定プログラム

和歌山県：北高生から広めよう地域の交通安全（仮）

- ・スケアード・ストレイト
- ・生命のメッセージ展（特定非営利活動法人 命のミュージアム）
- ・交通安全講話（交通事故被害者等の講師を想定）

徳島県：高齢者交通安全フェア（仮）

- ・スケアード・ストレイト
- ・シートベルトコンビンサー体験
- ・サポカー体験
- ・反射材効果体験

具体的なプログラムについては、各地区実行委員会にて検討の上決定する。

実施時間については、和歌山県が2時間程度、徳島県が3時間程度を想定する。

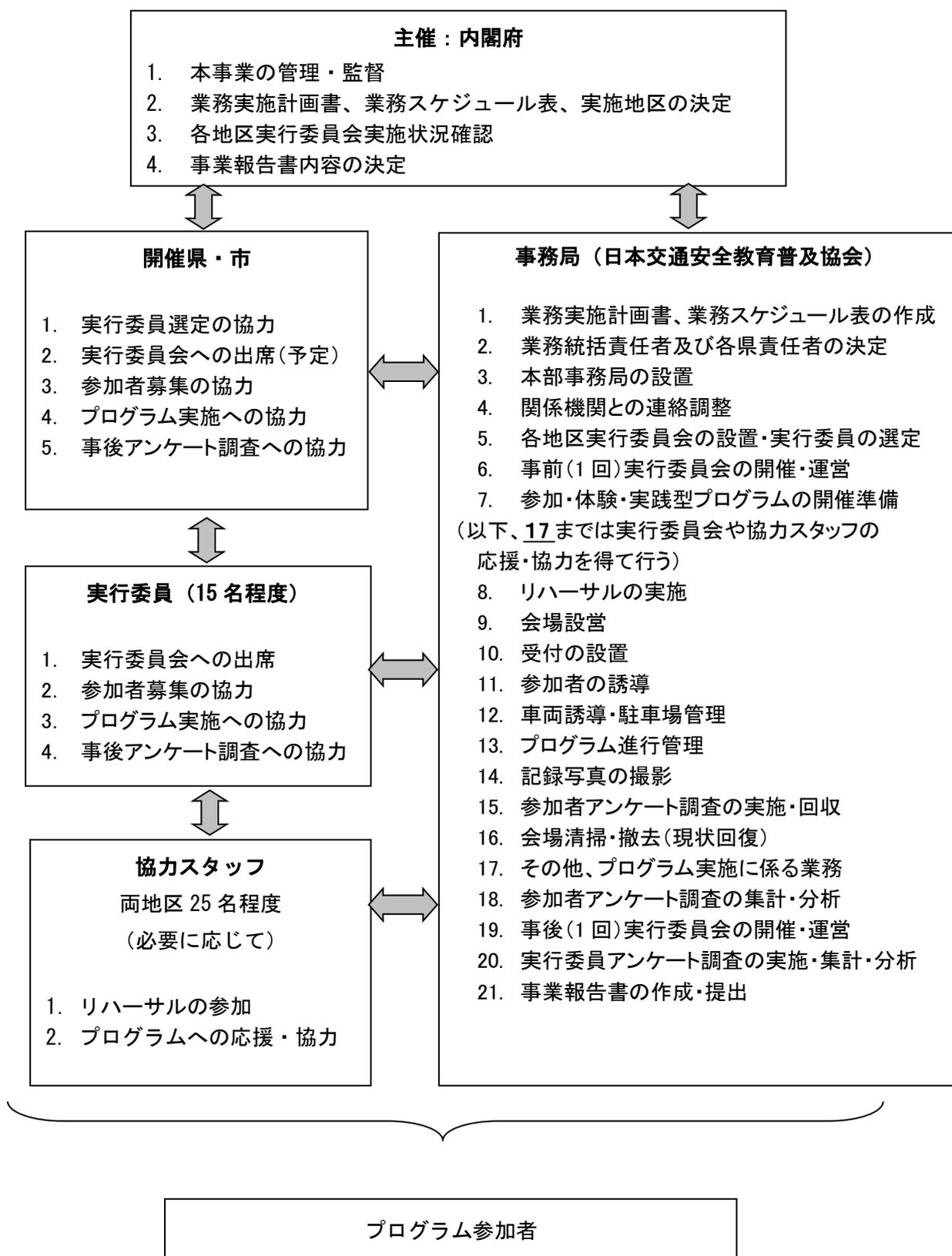
11. スケジュール（予定）

令和7年8月中旬～プログラム実施まで	各地区実行委員会設置、事前実行委員会開催（1回以上）、会場手配、参加者の募集、消耗品・備品等調達、指導者の手配（必要に応じて） 各地区実施マニュアル作成、プログラム実施の諸準備等
令和7年10月～11月	各地区でプログラム実施（リハーサル、参加者及び実行委員会へのアンケート調査の実施を含む。）
プログラム実施後	事後実行委員会開催 アンケート調査の集計・分析

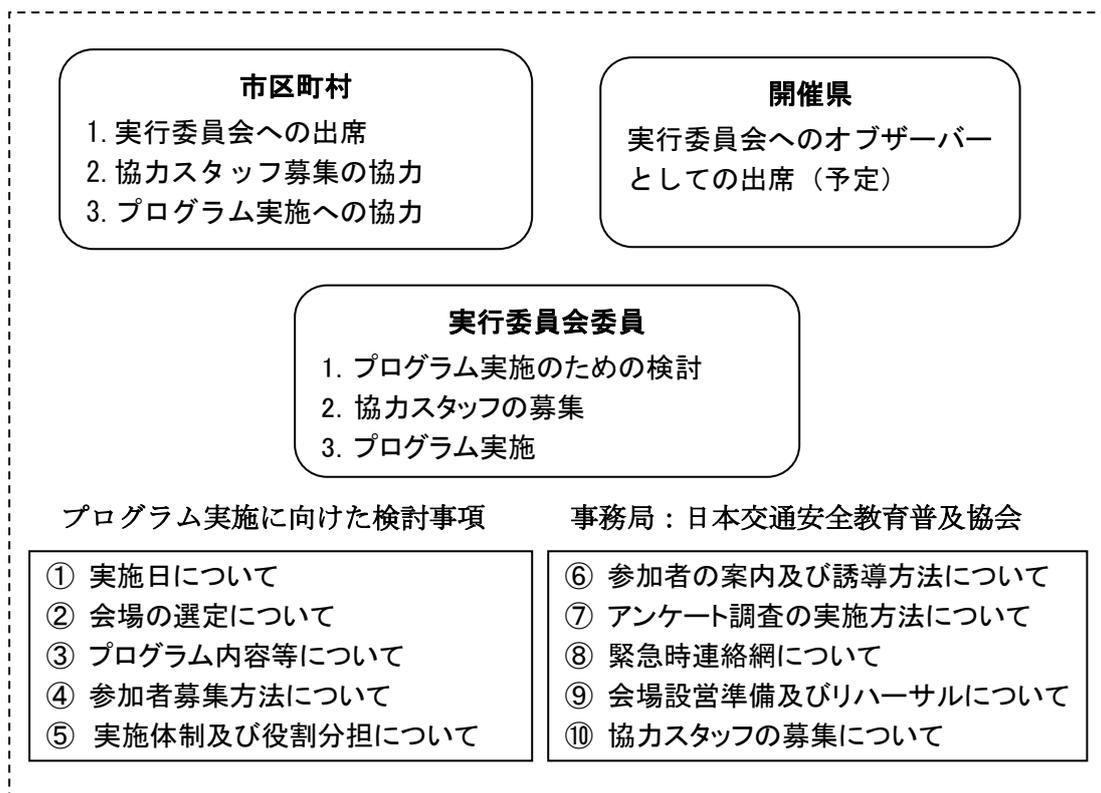
12. 経費の負担

本事業に要する経費は、原則として（一財）日本交通安全教育普及協会（事務局）が負担することとする。

体制図



事前実行委員会の役割



実施



プログラム開催

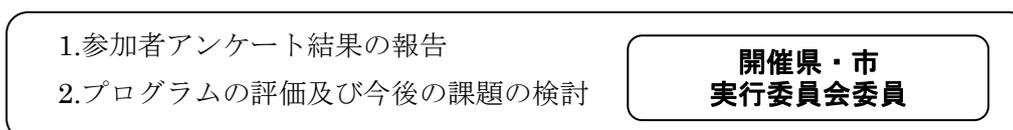


協力

協カスタッフ リハーサル及びプログラム実施協力

効果評価

事後実行委員会の役割



「令和7年度 地域提案型交通安全支援事業」における
実行委員会の設置と検討事項について

1. 実行委員会の設置及び委員の選定について

開催県及び市並びに地域において日常的に交通安全活動を行っている交通ボランティア団体を始めとした関係団体や機関（所轄警察署、教育委員会、小、中、高等学校、PTA、高齢者団体及び交通関係団体等）との協力を得て実行委員会を進めてまいりますので、実行委員会委員は、これらの代表者等を中心として選定を行います。（標準的人数は15名程度）

2. 事前実行委員会検討事項について

① 事業実施日について

参加者が容易かつ安全に参加できるよう、実施の時期や時間帯について配慮する。

② 会場の選定について（候補地あり）

プログラム内容や参加者数等を考慮するとともに、参加者の交通の利便性等にも十分に配慮した

適切な会場の選定について検討する。

○室内会場例：学校施設、公共の体育館、公民館 等

○屋外会場例：学校の校庭、公共のグラウンド、自動車教習所 等

※実施予定地

和歌山県：和歌山県立和歌山北高等学校（グラウンド及び体育館）

徳島県：徳島県警察本部運転免許課

③ プログラム内容について

予想される参加者実態を考慮し、和歌山県が2時間、徳島県が3時間程度を想定し、プログラム内容を検討する。

なお、プログラムにはスケアード・ストレイト方式による講習を組み入れる予定。

（実施業者：シャドウスタントプロダクション）

④ 参加者募集方法について

参加対象の関係機関・団体等との連携・協力を考慮した、効果的な募集方法を検討する。

（例）

○自治体広報誌、会報、学校だより等地域生活に密着した媒体を積極的に利用する

○子どもの募集先：保育園、幼稚園、小学校、幼児交通安全クラブ 等

○親（保護者）の募集先：PTA、交通ボランティア団体（交通安全母の会） 等

○高齢者の募集先：老人クラブ（高齢者団体）、交通安全協会、自治会 等

⑤ プログラム実施体制及び役割分担について

プログラムを実施するための必要な体制及び役割分担について検討する

○受付（参加者数のチェック含む）、会場整理、参加者誘導、来賓案内・応接、司会進行、指導者、備品準備、啓発品配布、音響・照明、救護、駐車場、記録写真・会場清掃・撤去 等

⑥ 参加者の案内及び誘導方法について

会場周辺の交通整理、会場施設の安全確保、非常時誘導方法、誘導路の確認等、参加者の安全管理対策について検討する。

⑦ 参加者アンケート調査の実施方法について

アンケート調査の回収率を高めるための実施・回収方法について検討する。（回収率100%目標）

⑧ 緊急時連絡網について

自然災害等の不測の事態が生じた場合を想定した緊急連絡網の作成及び関係者への周知方法等について検討する。

⑨ 会場設営準備及びリハーサルについて

実際のタイムスケジュール（実施マニュアル）に沿ってリハーサルを行い、予定時間、施設設備や準備する備品等に不備がないか最終確認する。

⑩ 協力スタッフの募集について

必要に応じてプログラム実施上必要な協力スタッフ（両地区ともに25名程度）の募集・人選等を行う。

3. 事後実行委員会検討事項について

① 参加者アンケート結果の報告

② プログラムの評価及び今後の課題について

2. 実施マニュアル（例）

〇〇〇〇〇交通安全教室

—令和7年度地域提案型交通安全支援事業—

【実施マニュアル】

主 催 内閣府
〇〇〇〇〇交通安全教室実行委員会

事務局 （一財）日本交通安全教育普及協会

1. 事業名

〇〇〇〇〇交通安全教室（地域提案型交通安全支援事業）

2. 目的

本事業は、内閣府が地方公共団体の提案を受け、当該地域の実情を踏まえた上で、当該地域において必要な交通安全に資する事業を実施することにより、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的とする。

3. 主催

内閣府

〇〇〇〇〇交通安全教室実行委員会

4. 事務局

（一財）日本交通安全教育普及協会

5. 実施会場

〇〇〇（〇〇県〇〇市〇〇 TEL〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇）

6. 実施日時

令和〇年〇月〇日（〇） 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分

7. 参加者

〇〇〇等 約〇〇〇名

8. 内容

（1）開会式

①主催者挨拶等

②来賓挨拶

（2）参加体験型の交通安全教室

①プログラム1

②プログラム2

③プログラム3

（3）スケアードストレイト見学

（4）閉会式

①講評

②閉会宣言

●進行スケジュール

1 ○○月○○日 (○)

時 間	実施内容
14:00～16:00	【前日準備】 看板類 機材搬入 各体験コーナーの準備

2 ○○月○○日 (○)

時 間	実施内容
8 : 00	【集合・打合せ】 実行委員・協力スタッフ集合 (各体験コーナーのセッティング、手順の確認)
9 : 00～9 : 30	【受付】 参加者名簿のチェック アンケート調査票の配布
9 : 30～9 : 45	【開会式】 主催者（内閣府）・来賓挨拶
9 : 45～10 : 15 (30分)	プログラム① 実施
10 : 15～10 : 45 (30分)	プログラム② 実施
10 : 45～11 : 15 (30分)	プログラム③ 実施
11 : 15～11 : 50 (35分)	スケアード・ストレイト見学
11 : 50～12 : 00 (10分)	講評 閉会宣言
12 : 00	事務連絡 アンケート調査票回収 スケアード・ストレイト撤収作業 会場現状復帰作業

■スケアード・ストレイト実施判断について

天候による屋外・屋内実施判断

台風などの荒天予報がある場合は前日夕方までに、関係者が会場の状況等を判断し、実行委員会として決定する。

●進行台本

時間	事項	アナウンス	準備等
9:30	開会	<p>みなさん、こんにちは。</p> <p>ただいまから、「〇〇〇〇交通安全教室」を開会いたします。</p> <p>本日の司会を務めます〇〇の〇〇（〇〇）です。</p> <p>どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>この「〇〇〇交通安全教室」は「令和7年度内閣府地域提案型交通安全支援事業」の一環として、各地域の実情を踏まえて交通安全に資する事業を行うことで、地域での交通安全活動を推進することを目的に開催されるものです。</p>	<p>実行委員等 整列済み</p>
9:33	主催者挨拶	<p>はじめに、主催者を代表いたしまして、内閣府政策統括官（共生・共助担当）付、交通安全啓発担当〇〇〇〇（〇〇 〇〇）より、ご挨拶を申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">～挨拶～</p> <p>ありがとうございました。</p>	〇〇様待機
9:38	紹介	<p>本来であれば、ご出席いただいた方にご挨拶を頂きたいところではございますが、お時間の都合上お名前のみのご紹介とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">～出席者のご紹介～</p>	
9:43	流れ説明	<p>最後に、本日の流れについて、簡単に説明します。</p> <p>式が終わりましたら、この場の準備ができ次第、プログラムを進めてまいります。</p>	
9:45	プログラム①	プログラム① の実施	参加者誘導
10:15	プログラム②	プログラム② の実施	参加者誘導
10:45	プログラム③	プログラム③ の実施	参加者誘導
11:15	スケアード・ストレイト	<p>これより、スタントマンが実際に自動車、自転車を活用して交通事故を再現する「スケアード・ストレイト」を見学していただきます。</p> <p>行っていただくのは、シャドウスタントプロダクションの皆さんです。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>	シャドウスタント待機

11 : 50	講評	<p>～開始後の進行は、 シャドウスタントプロダクションMCによる～</p> <p>～ありがとうございました。～</p> <p>皆さん、本日は、お疲れさまでした。</p> <p>それでは、本日の〇〇〇〇〇交通安全教室の講評を行っていただきます。 ご講評は、〇〇の〇〇様をお願いいたします。</p> <p>〇〇さん、お願いします。</p> <p>～講評～</p> <p>ありがとうございました。</p>	〇〇様待機
	閉会宣言	<p>終わりに、〇〇の〇〇様より、閉会宣言を申し上げます。</p> <p>～閉会宣言～</p> <p>ありがとうございました。</p>	〇〇様待機
12 : 00	終了 事務連絡	<p>以上をもちまして、「〇〇〇〇〇交通安全教室」を終了いたします。</p> <p>最後にお知らせです。 この後、アンケート用紙を配付しますので、今日の交通安全の感想やスケアードストレイトの意見等を記載してください。 今日の内容が、皆さんの自転車の安全利用及び交通安全行動について改めて考える機会となり、それぞれの地域から交通事故が起きることがないように、交通安全に気を付けてください。</p>	

■スケアード・ストレイト実施業者

シャドウ・スタントプロダクション

■スケアード・ストレイト実施内容

交通安全スケアードストレイトとは

交通事故の危険性を、プロのスタントマンが行う事故再現を見て感じることで、交通ルールやマナーの重要性を学ぶ教育手法

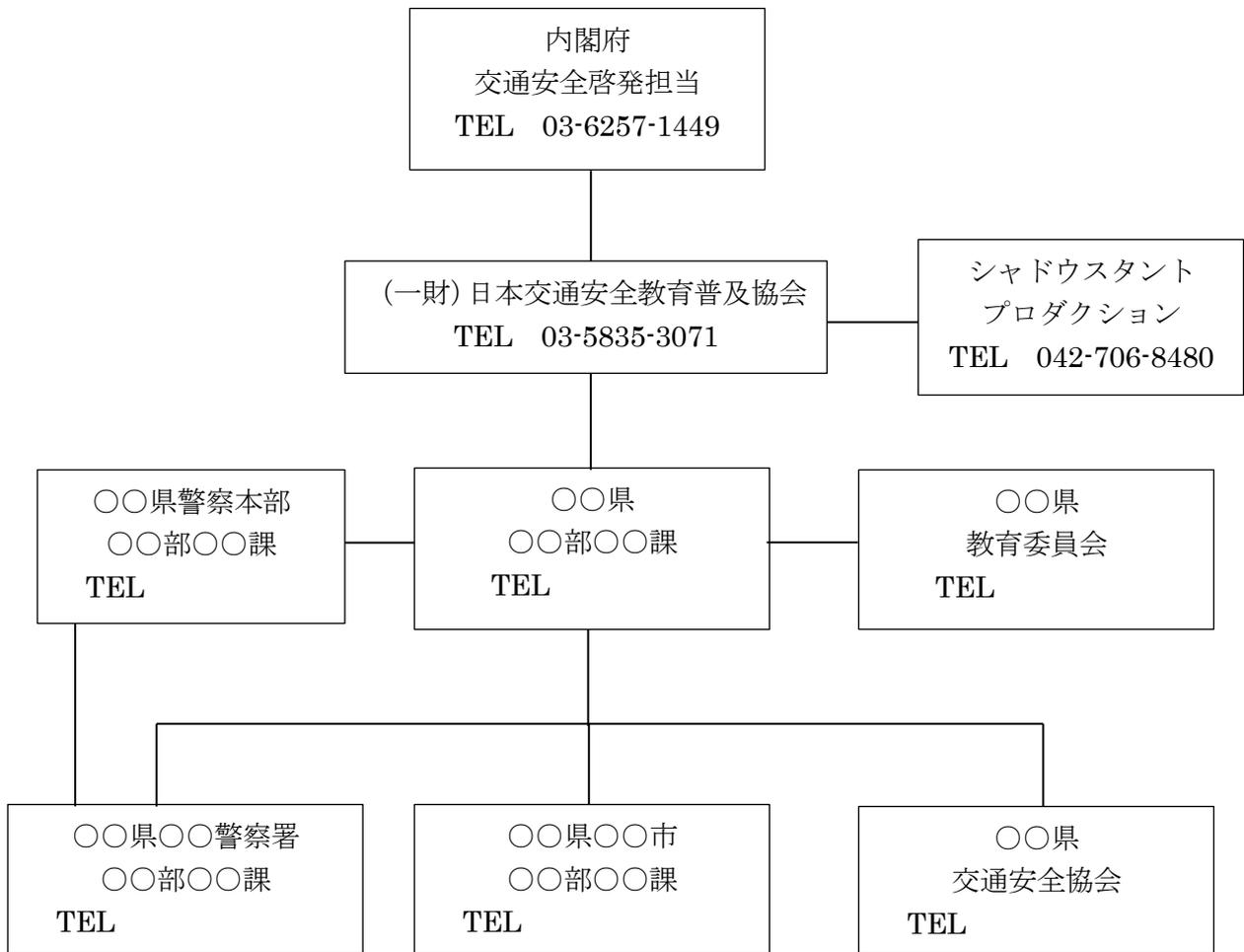
※スケアード・ストレイトは、実際の衝突を行うなど刺激が強いため、中学生未満の子どもや高齢者、心臓の弱い方が含まれる場合は、注意喚起や見学辞退の検討も必要です。



●実行委員名簿及び主な役割分担

区分	所属	職	氏名	主な役割
実行委員長				総括
実行委員				司会進行
同				司会補助
同				プログラム ①
同				同
同				プログラム ②
同				同
同				プログラム ③
同				同
同				記録・写真
同				講評
事務局				スケアード 業者対応
同				アンケート 調査票
同				アンケート 調査票
同				啓発品配布
同				啓発品配布
同				会場整理
同				会場整理
スケアードス トレイト実施 業者	シャドウスタント プロダクション		6名	

●緊急連絡先



3. アンケート調査票

(1) 和歌山県

[参加者用]

【和歌山県・和歌山北高等学校 令和7年 11 月 5 日】

北高生から広めよう 地域の交通安全 アンケート

問1 あなたは 普段、交通安全のことについて、誰かと話すことがありますか。

- 1 先生 2 家族 3 友だち 4 だれとも 話さない

問2 あなたは 本日の交通安全教室について どう感じましたか。

1～5から一つ選び その理由についても 記入してください。

- 1 とても良かった 2 良かった 3 普通 4 良くなかった
5 全然良くなかった

理由 ()

問3 今日の行事に参加しての感想をお聞かせください。

(1) 今日の各プログラムをどう思われましたか。各プログラムの評価番号に○を付けて下さい。

プログラム名	大変良かった	良かった	ふつう	良くなかった	全然良くなかった
見学 生命のメッセージ展	1	2	3	4	5
交通安全講話	1	2	3	4	5
見学 スケアードストレイト	1	2	3	4	5

(2) あなたは 本日の交通安全教室に参加して どのようなことを感じましたか。

あてはまる番号全部に ○を つけてください。

また、その他感じたことがありましたら、自由記述欄に記入してください。

- 1 交通ルールや交通マナーを守ろうという気持ちが強くなった。
- 2 道路でまわりの車や人に十分注意して行動しようという気持ちが強くなった。
- 3 交通安全についてもっと知りたいという気持ちが強くなった。
- 4 ふだんから交通安全についてだれかと話そうという気持ちが強くなった。
- 5 ヘルメットを着用しようという意識が強くなった。
- 6 特に変わりはない。

自由記述 ()

問4 これからも、スケアードストレイト交通安全教室のような行事に参加したいですか。

1～3から一つ選び、その理由についても記入してください。

- 1 参加したい 2 参加したくない 3 どちらともいえない

理由 ()

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

(2) 本事業にご参加いただいたことによって、有益だったと思うことは、どのような点でしたか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 交通安全に関する知識の習得について
- 2 交通安全教育を行う際の指導方法について
- 3 交通安全教室実施のための企画立案について
- 4 交通安全活動の運営について
- 5 交通安全教室で使用する道具等の制作・調達について
- 6 行政や警察、他団体との連携について
- 7 その他 ()

(3) 本事業にご参加いただいたことにより、今後の交通安全活動に活用される予定ですか。

- 1 活用していきたい
- 2 一部活用していきたい
- 3 どちらともいえない
- 4 活用することは難しい

(4) 前問で「4 活用することは難しい」と答えた方にお聞きします。難しいと思う理由は何ですか。ご自由にお書きください。

(5) 本事業への参加を契機として、今後、同様（又は類似）の体制で交通安全活動を実施したいと思いませんか。実施したいと思う場合、それは現実的に可能だと思いませんか。

- 1 実施したいし、可能だと思う
- 2 実施したいが、困難だと思う
- 3 実施したいと思わない
- 4 どちらともいえない

(6) 前問で「2 実施したいが、困難だと思う」と答えた方にお聞きします。困難だと思う理由は何ですか。ご自由にお書き下さい。

問5 本事業以外で、地域においてより効果的な交通安全活動を推進（上記問4（2）の項目など）するためには、どのような機会が必要だと思いませんか。

問6 今回、本事業に取り組んだことで、あなた自身の意識の変化や再認識したことについて、お書きください。

問7 最後に、本事業に対するご意見・ご要望・ご感想等を自由にお書きください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

高齢者交通安全体験フェア アンケート

今後の事業への参考とさせていただきますので、アンケート調査にご協力ください。

問1 はじめに、あなたのことについて、教えてください。

- (性別) 1 男 2 女
(年齢) 1 60歳未満 2 60代 3 70代 4 80歳以上
(運転免許) 1 あり 2 なし 3 返納した

問2 今日の行事に参加したきっかけ(理由)は何でしたか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 交通安全に興味があった 2 市町等・敬老会からの案内によって
3 知人に誘われた 4 家族に勧められた
5 おもしろそうだった 6 その他 ()

問3 今日の行事に参加しての感想をお聞かせください。

(1) 今日の行事に参加して、

- 1 大変良かった 2 良かった 3 ふつう 4 良くなかった
5 全然良くなかった
(その理由:)

(2) 今日の各プログラムをどう思われましたか。各プログラムの評価番号に○を付けて下さい。

プログラム名	大変良かった	良かった	ふつう	良くなかった	全然良くなかった
体験 サポートカー試乗	1	2	3	4	5
見学 スケアード・ストレイト	1	2	3	4	5

お手数ですが裏面もご回答下さい

問4 今日の記事に参加して、あなたの今の気持ちをお聞かせください。

- (1) 交通ルールや交通マナーを守らなければいけないという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (2) 道路状況や交通状況などに十分注意して行動しようという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (3) 家族で、交通安全について日常的に話し合ったり、考えたりすることが大切だという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (4) 友人や仲間と、交通安全について話し合おうという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (5) 地域の子どもたちや地域の皆さんを、交通事故から守ろうという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (6) 交通安全のために、あなた自らが地域で何か役割を果たそうという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ
- (7) これからも機会があれば交通安全イベント(教室)に参加しようという気持ちが高まりましたか。
1 はい 2 いいえ

問5 次の各項目にお答えください。

- (1) 開催日(曜日を含む) 1 良かった 2 良くなかった
(その理由:)
- (2) 行事全体の時間の長さ 1 良かった 2 長かった 3 短かった
(その理由:)
- (3) 行事の周知方法 1 良かった 2 良くなかった
(その理由:)
- (4) プログラムの数 1 良かった 2 多かった 3 少なかった
(その理由:)
- (5) プログラムの中での説明の仕方 1 良かった 2 良くなかった
(その理由:)
- (6) 全体の流れ(進行)について 1 良かった 2 良くなかった
(その理由:)

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

(ご記入いただいたアンケート用紙は、係員までお渡しく下さい)

(2) 本事業にご参加いただいたことによって、有益だったと思うことは、どのような点でしたか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1 交通安全に関する知識の習得について
- 2 交通安全教育を行う際の指導方法について
- 3 交通安全教室実施のための企画立案について
- 4 交通安全活動の運営について
- 5 交通安全教室で使用する道具等の制作・調達について
- 6 行政や警察、他団体との連携について
- 7 その他 ()

(3) 本事業にご参加いただいたことにより、今後の交通安全活動に活用される予定ですか。

- 1 活用していきたい
- 2 一部活用していきたい
- 3 どちらともいえない
- 4 活用することは難しい

(4) 前問で「4 活用することは難しい」と答えた方にお聞きします。難しいと思う理由は何ですか。ご自由にお書きください。

(5) 本事業への参加を契機として、今後、同様（又は類似）の体制で交通安全活動を実施したいと思いませんか。実施したいと思う場合、それは現実的に可能だと思いますか。

- 1 実施したいし、可能だと思う
- 2 実施したいが、困難だと思う
- 3 実施したいと思わない
- 4 どちらともいえない

(6) 前問で「2 実施したいが、困難だと思う」と答えた方にお聞きします。困難だと思う理由は何ですか。ご自由にお書き下さい。

問5 本事業以外で、地域においてより効果的な交通安全活動を推進（上記問4（2）の項目など）するためには、どのような機会が必要だと思いますか。

問6 今回、本事業に取り組んだことで、あなた自身の意識の変化や再認識したことについて、お書きください。

問7 最後に、本事業に対するご意見・ご要望・ご感想等を自由にお書きください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました